議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、 反対意見や各議員の態度

同＝同意、議＝議案、認＝認定、報＝報告
陳＝陳情、意＝意見案

種類番号	件　　名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成･反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で対立意見がないものは本会議の賛成･反対。	会派名	市政クラブ								公明党		新政会		共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会
				議員氏名	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	神谷利盛	柳沢英希	杉浦辰夫	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	小嶋克文	長谷川広昌	黒川美克	内藤としこ	柴田耕一	岡田公作	倉田利奈
9月定例会（会期:8月30日～9月27日･29日間）　議案等				結果	○=同意、賛成、採択　●=不同意、反対、不採択　△=趣旨採択															
陳第11号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	国に、①父母負担の公私格差を是正するための就学支援金の拡充。②国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高校以下の経常費補助の拡充。以上2点の意見書の提出を求める。	賛成　学費の公私格差は大きく、公私格差是正のための就学支援制度拡充は喫緊の課題。　趣旨採択　学習環境や設備も同じではなく、国の財政状況もあるが、趣旨は理解できる。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	－	△	○	○	△	△	○	△	△	○
陳第12号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	県に、教育の公平の実現と私学選択の自由を確保するため、授業料助成と入学金助成の拡充、経常費助成でも学費と教育条件の公私格差を是正できる施策実施を求める意見書の提出を求める。	賛成　愛知県で年収350万円未満の授業料は無償化されているが、中間所得層で学費負担が大きい。　趣旨採択　学費の公私間格差が学校選択の障害になっているが、各種助成措置がとられている。助成だけではなく、抜本的に変えることを考える必要がある。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	－	△	○	○	△	△	○	△	△	○
陳第13号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	令和2年度予算で、私立高校生に対する現行の市独自の授業料助成の拡充を求める。	反対　所得制限はあるが、近隣市町村の中でも助成を継続している。 賛成　父母の負担軽減と教育条件の公私格差を是正していくことは必要で、市の助成は十分といえない。　趣旨採択　既に助成が実施されているが、陳情の趣旨は理解できる。	不採択	●	●	●	●	●	●	－	●	△	△	●	●	○	●	●	△
意第１号	定数改善計画の早期策定･実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	国に、①少人数学級のさらなる拡充を含めた教員の定数改善計画の策定、実施。②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元。以上2点の意見書を提出する。	陳情第10号の採択を受け、議員から意見書（案）の提出。原案のとおり賛成され、内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣に提出された。	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1.北川広人議員は議長職のため、表決権はありません。
※2.認定第1号～認定第8号については11月1号「広報たかはま」の4･5ページに概要が掲載されています。あわせてご参照ください。

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をただすものです。
なお、掲載文は、議員本人作成（文責）の原稿です。

倉田 利奈 議員

公共施設マネジメントについて

問　平成27年の市民説明会で、高浜小の複合化による財政効果が示された。その当時、計画に入っていた高浜幼稚園・いちごプラザ・市立図書館が複合化されなかったが、事業費が膨らんでいる。この計画について検証・総括が必要不可欠と考えるが、どのように考えるか。

答　試算ベースは面積を基準にしており、中央公民館の建物分面積が削減された。面積の削減効果を指標として、これからも説明する。

問　公共施設推進プランでは、旧高浜分院の跡地計画策定が平成27年から平成30年となっているが、いつ計画し、いつ発表したのか。

答　まだ計画は策定していない。したがって公表もしていない。

問　小中学校のトイレの洋式化率及び、近隣市の学校トイレの洋式化率は。

答　高浜市の児童・生徒用の洋式化率は33.2%（高浜小の100%を含む）で、近隣市の教職員トイレも含めた洋式化率は、刈谷市56.9%、碧南市52.6%、安城市61.5%。

問　計画では築35年で大規模改修となっているが、行われていない。子供たちのためにもトイレの改修を早急に行ってほしいが、どうか。

答　高取小と吉浜小は大規模改造の工事に合わせて行い、港小・高浜中・南中については、来年度にトイレ洋式化の設計業務に着手。

問　小中学校プール授業委託の今後の計画は。

答　高取小は令和2年度、南中は令和3年度、港小は令和5年度から民間委託予定であるが、施設状況によって前倒しを検討。吉浜小と翼小は、移行年度は決まっていない。高浜中は移行を考えていない。

問　旧高浜分院は現在機能していない民間の建物で、市が管理することは納得できないという声があるが、固定資産税を課税しているか。

答　利益を生まなくなった施設の固定資産税相当額を豊田会に財政支援している。

問　金額換算するといくらか。借地料はどうか。

答　試算でおよそ1,080万円。土地は無償貸与であるため算定していない。